

このプログラムは Palm の標準のシステム サウンド(ビーブ音)を PCM サウンドに置き換えるツールです。使用する PCM サウンドは AIFF 形式または RIFF WAVE 形式のファイルで指定します。

## 配布ファイル一覧

PCMBEEP.prc ..... PCM システム サウンド ツール アプリケーション リソース  
PCMBEEP\_jpJP.prc ... PCM システム サウンド ツール 日本語オーバーレイ リソース  
PCMBEEP.pdf ..... PCM システム サウンド ツールの使用方法 PDF 形式(このファイル)  
Readme.txt ..... この作品についての説明  
License.txt ..... ご利用条件

## 動作環境

このプログラムは PalmOne の LifeDrive の Palm OS 5.4.8 上で動作を確認しています。ただし、日本語の表示については ACCESS で提供されている開発ツールの Palm OS Garnet Simulator で確認しています。(シミュレータ上で実際に動作させることはできません。配布しているプログラムは、シミュレータ上では起動できないようになっています。)

他のバージョンの OS 上での動作は未確認です。

PCM サウンド(Sampled Sound)再生の機能を使用しますので、Palm OS 5.0 以上が必要です。また、PCM 再生の機能がある機種が必要です。

以降の説明では、解りやすいようシミュレータの日本語表示画面を示します。英語表示の場合も操作方法は同じです。この文書の最後に LifeDrive の表示画面も載せておきます。

## インストール

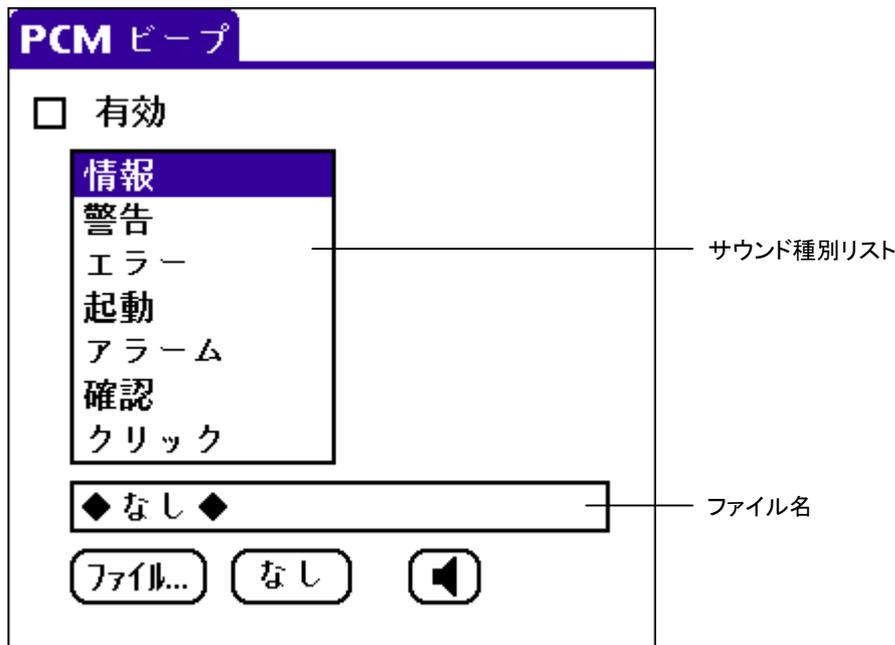
HotSync などを用いて PCMBEEP.prc を Palm に転送します。日本語 OS 上で日本語表示で使用する場合は、日本語オーバーレイ PCMBEEP\_jpJP.prc も一緒に転送します。

## アンインストール

Palm の標準のアプリケーション削除方法に従って“PCM ビーブ”(英語表示画面では“PCM Beep”)を削除してください。

## 使用方法

### 設定画面



PCM ビープを起動すると上記画面が表示されます。

- [有効]

チェックすると、サウンドの置き換えを有効にします。チェックを外すと、個々のサウンド種別に対するサウンド ファイル割り付けの有無に拘わらず、すべてのサウンドの置き換えが無効になります。

- サウンド種別リスト

システム サウンドの種別の一覧がリストに表示されます。リストで選択した種別に対して、サウンド ファイルの割り付け、解除等の操作を行います。

- ファイル名

リストで選択したサウンド種別に割り付けられているサウンド ファイルの名前が表示されます。ファイルが割り付けられていない場合は「◆ なし ◆」と表示されます。

- [ファイル]ボタン

[ファイル選択]画面を開きます。

[ファイル選択]画面で Palm の本体/カード内にあるサウンド ファイルを選択して、リストで選択したサウンド種別に割り付けます。

- [なし]ボタン

リストで選択したサウンド種別のサウンド ファイルの割り付けを解除し、標準のビープ音に戻します。

- 再生ボタン 

リストで選択したサウンド種別に割り付けられているサウンド ファイルを再生します。

PCM サウンドとして使用できるファイルの形式は以下のものです。

- AIFF

チャンネル数: 1 または 2

サンプリング レート: 96000Hz 以下

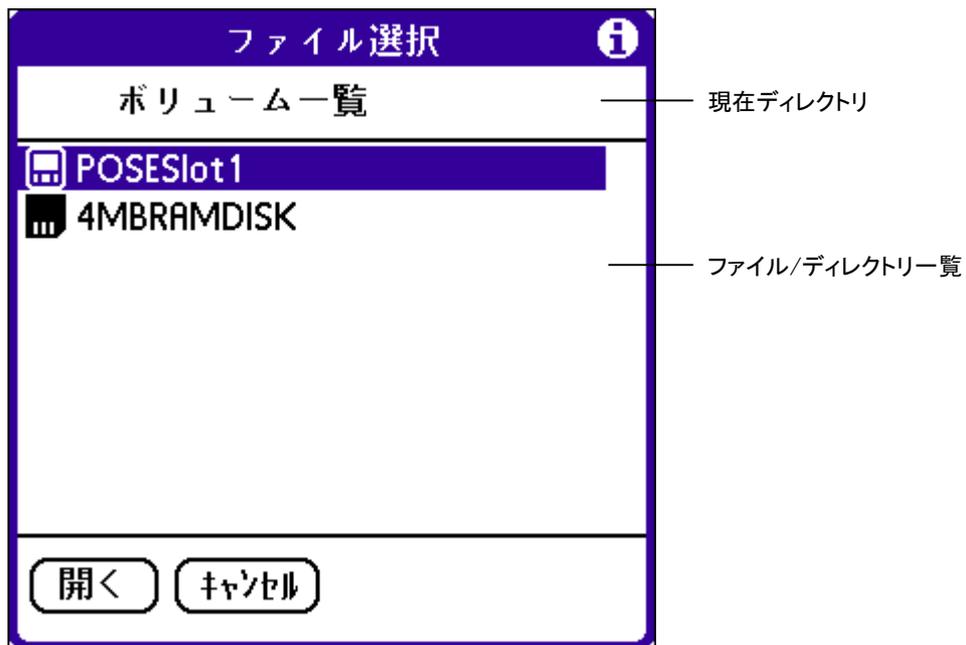
- RIFF WAVE

フォーマット: PCM (フォーマット タグ 0001(16 進))  
 チャンネル数: 1 または 2  
 サンプリング レート: 96000Hz 以下

このプログラムは、システム API の SndPlaySystemSound をフックすることで置き換えを行っています。したがって、SndPlaySystemSound 以外の方法で出力されるサウンドに対しては効果がありません。  
 SndPlaySystemSound で再生できるサウンドの種類は 7 つで、上記のサウンド種別に対応します。システム API のリファレンスでは、各サウンド種別は次のように説明されています。

種別	説明
情報	重大でない情報を伝える
警告	ユーザーの注意を引く
エラー	正しくない操作であることを示す
起動	デバイスの起動時に鳴る
アラーム	一般的なアラーム音 (Datebook のアラーム音ではない)
確認	認可や承諾を示す
クリック	ボタンのクリック音

[ファイル選択]画面





- 上位ディレクトリ移動ボタン ↑

タップすると、ひとつ上のディレクトリに移動します。

タッチしたまましばらく保持すると、上位ディレクトリ(および現在のボリューム、「ボリューム一覧」)の一覧が現れます。



一覧内のディレクトリをタップすると、そのディレクトリに移動します。

- 現在ディレクトリ

現在のディレクトリが表示されます。



ルート ディレクトリの場合は現在のボリュームが表示されます。また、ボリュームの一覧の表示中は「ボリューム一覧」と表示されます。

- ファイル/ディレクトリ一覧

現在のディレクトリ内のファイルとディレクトリの一覧が表示されます。

最初はボリュームの一覧が表示されます。ボリュームを開くと、そのボリューム内のファイル/ディレクトリが表示されます。

一覧の項目をダブル タップすると、その項目がボリュームまたはディレクトリの場合はボリューム/ディレクトリを開き、ファイルの場合はそのファイルを選択して該当サウンド種別に割り付けます。([開く]/[OK]ボタンと同じ処理)

一覧の項目をタッチしたまましばらく保持すると、そのファイル/ディレクトリについての追加情報が表示されます。ファイルについてはファイル サイズと更新日時が、ディレクトリについては更新日時が表示されます。



追加情報の表示を消去するときは、ウィンドウの任意の箇所をタップしてください。

- [開く]/[OK]ボタン

このボタンの表示は状況により変わります。一覧で選択されている項目がボリュームまたはディレクトリの場合は「開く」、ファイルの場合は「OK」になります。

一覧で選択されている項目がボリュームまたはディレクトリの場合はボリューム/ディレクトリを開き、ファイルの場合はそのファイルを選択して該当サウンド種別に割り付けます。

- [キャンセル]ボタン

ファイルを選択せずに画面を閉じます。ファイルの割り付けは変わりません。

- ソート順選択

ファイル/ディレクトリのソート順を「名前」/「サイズ」/「日時」から選びます。「サイズ」はファイル サイズの順、「日時」は更新日時の順です。

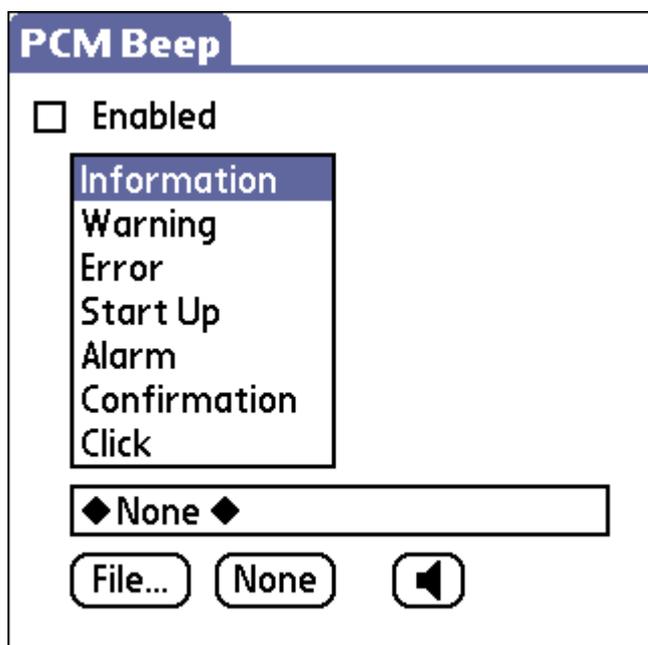


選択したソート順でファイル/ディレクトリの一覧が表示されます。ただし、「サイズ順」を選んだ場合はファイルのみがサイズ順に表示され、ディレクトリはすべて一覧の最初に表示されます。

## 英語表示画面

英語表示画面の例として、LifeDrive での画面を示します。

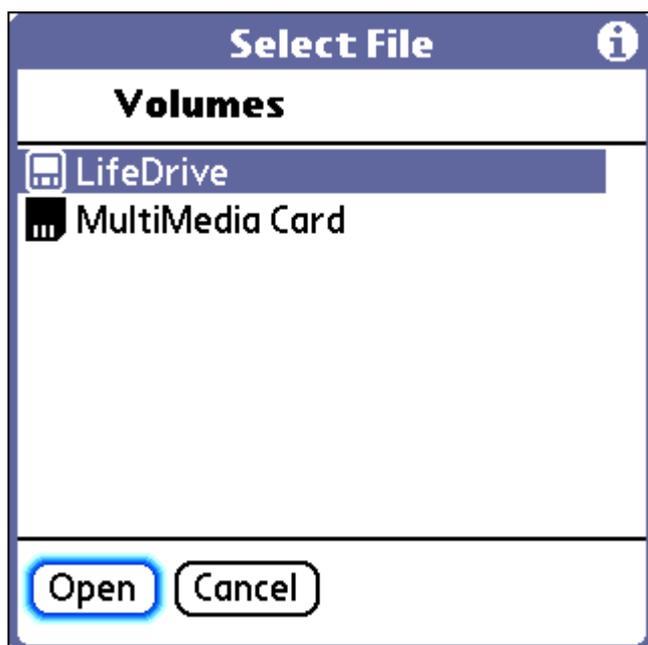
### 設定画面



#### 名称の対応

- [有効] → [Enabled]
- [情報] → [Information]
- [警告] → [Warning]
- [エラー] → [Error]
- [起動] → [Start Up]
- [アラーム] → [Alarm]
- [確認] → [Confirmation]
- [クリック] → [Click]
- [なし] → [None]
- [ファイル] → [File]

[ファイル選択]画面



名称の対応

- [ファイル選択] → [Select File]
- [ボリューム一覧] → [Volumes]
- [開く] → [Open]
- [OK] → [OK]
- [キャンセル] → [Cancel]
- [ソート] → [Sort by]
- [名前] → [Name]
- [サイズ] → [Size]
- [日時] → [Date]